



県政報告 Vol.31

2025.3月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol.31」をお届けします。今回は様々な行事への出席など議員としての活動の一端を紹介すると共に、2月定例愛知県議会の初日に上程された「令和7年度当初予算」の一部の項目を紹介し、2月定例愛知県議会はそれ以降、代表質問・議案質疑・委員会などが開催されましたが、それらの内容については紙面の都合上、次回発行の「県政報告Vol.32」でお知らせ致します。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



1.17 金 刈谷警察署感謝状贈呈式 「自発的な行動が大切」

【令】

和7年刈谷警察署感謝状贈呈式』に来賓として出席しました。様々な分野で活躍された100団体と56名の個人が受賞されました。

「今日、1月17日は阪神淡路大震災からちょうど30年です。あの震災を機に国民の間でボランティアといった意識



が芽生え1995年はボランティア元年とも呼ばれています。ボランティアには自発的といったニュアンスも含まれています。

警察も市役所も交通安全対策・防犯対策・青少年の健全育成対策をハード面・ソフト面様々取り組んでいます。一番大切なのはそういったことに対する市民の意識の高まり、そしてその意識に裏付けられた自発的な行動ではないでしょうか。

その自発的な行動をそれぞれの地域・職場・団体でリードしてられるのがここにお集りの皆様です。皆様の益々のご活躍により、刈谷市が更に安全安心なまちになることを祈念します。」…来賓としてこのような主旨で挨拶をさせて頂きました。

1.26 日 福祉・防犯・防災・子育て支援において「地域のつながり」を

【熊】

地区ふくし連絡会主催による『つながりのある地域づくりに役立つ講演会』に出席しました。

講演は3部構成で、第1部は亀城小学校5年生のOさん。夏休みの自由研究で「幸せについて」研究。その内容をパワーポイントを使って堂々と立派に話をされました。「自分の幸せのコップが満たされていないと、他人の幸せのコップを満たすのは難しい」の言葉が印象的でした。

第2部は刈谷中央地域包括支援センターの皆様による

『地域包括支援センターの活動内容』と『認知症支援について』の講話。そして第3部は参加者が4つのテーブルに分かれて地域ケア会議(グループミーティング)で皆さんの声を出し合いました。



「ふくし」と言うと、「高齢者」「子育て」「子ども」「障害者」「地域」など、様々な分野に及びますが、共通して大切なことを一言キーワードで表すとすれば、今日の講演テーマにあった通り「つながり」ではないかと思えます。否、この「地域のつながり」というワード、福祉の分野だけでなく、防災や防犯や子育て支援にとっても大切なワードだと思えます。

熊地区は公民館活動等、様々な行事を活発にされています。こうした行事を通して地域のつながりが益々強まり、皆さんが幸せを感じられる地域として発展されることをお祈りしています。

1.28 火 JR刈谷駅ホーム拡幅に関連して線路用地が北側に広がります

南

桜町のスペースAquaで行われた刈谷市都心交流エリア活性化協議会ワークショップに出席しました。

市役所の方から『グリーンモール(刈谷駅北口～刈谷街道踏切)の整備について』説明がありました。これはJR刈谷駅改良工事(愛知県も補助金を出しています)に伴う線路用地の拡幅に伴い、道路の改良工事(刈谷市施行)とフェンスの移設工事をするものです。



【整備内容】

- ◎線路境界のフェンスを道路側(北側)へ移設
- ◎南側歩道をなくして、北側歩道が路線的につながるように整備
- ◎車道・歩道の舗装の種類を変更
車道 インターロッキング⇒通常のアスファルト
歩道 インターロッキング⇒平板ブロック
- ◎歩道と車道の間ガードパイプを設置⇒景観に配慮した色と形のものを使用

【実施時期】

- ◎令和7年4月頃～令和7年7月頃

【交通規制】

- ◎工事は9時から17時の間で規制を行い、それ以外の時間は開放する
- ◎車道…通行止め
- ◎歩行者…工事中も通行できるように施工を進める

2.4 火 刈谷依佐美地区の第2期工業用地開発が始まります

愛

知県企業庁から「刈谷依佐美地区の第2期工業用地」開発計画の概要が示されました。

- ◎所在地 刈谷市高須町及び半城土町地内
- ◎開発面積 25.6ha
- ◎分譲面積 19.0ha
- ◎事業期間 2024年度～2032年度(予定)
- ◎建築物等の用途 製造業を営む工場又はこれに関連する研究開発施設
- ◎今後の予定 2025年度 詳細決定
2027年度 造成工事発注
2032年度 造成工事完了予定

尚、参考までに依佐美地区1期の概要は…
開発面積14.9ha(分譲面積11.3ha、全11区画完売【8社】)
事業期間は2017年度～2021年度でした。



2.6 未 ▶ スタートアップの祭典に参加 イノベーションを起こすキーワードは「予期せぬ幸運な出会い」

ス タートアップの祭典「TechGALA Japane2025」に伺いました。これは、愛知県や名古屋市、大学、企業が連携して開催するテクノロジーの祭典です。

今年のテーマは「未来を創るテクノロジーと社会」。生成AI、ロボティクス、宇宙開発、再生可能エネルギー、メタバース、バイオテクノロジーなど、多岐にわたる分野の展示やセッションが企画されています。4日～5日は名古屋市中日ビルを中心とした栄地区において、そして本日は鶴舞のSTATION Aiを会場にして開催されました。

会場までの交通手段は名古屋駅前スパイラルタワーから自動運転のレベル2での実証実験をしている「あいち自動運転シャトル」を利用しました。

先日、桑名市での自動運転実証実験に乗車した時は小型バスによる郊外での運行、最高速度は35Kmという設定でしたが、今回は交通量の多い名古屋市内で最高速度は49Kmまで出ていました。但し、



道路工事をしている場所や高速道路の降り口付近では運転手が「介入」していたから、レベル4での運行までにはまだまだ課題があるように思いました。そして何より、自動運転とは言っても万が一に備えて運転手がいるかどうかは、安心感の点で大きな差があります。運転者がいなくても、この「安心感」を如何に感じて貰えるかが次のステップに向けての課題だと思います。



そして会場に入ると歩くことも苦勞するほど大勢の人で賑わっていました。しかもそれらの人々の新しいことに挑戦をするという熱気で溢れていました。イノベーションを起こすキーワードは「セレンディピティ(予期せぬ幸運な出会い)」だと言われていますが、正にSTATION Aiはセレンディピティを起こすチャンスが山盛りの空間だと思います。

TechGALA Japane2025の開催により、参加者の皆さんが新しい技術や知識を得ることにより、オープンイノベーションや新しい何かを生み出したり、加速するきっかけや起爆剤になることを期待しています。

2.17 月 ▶ 2月定例愛知県議会 2025年当初予算は『Make Aichi Great』予算

今 日から3月24日(月)まで36日間の会期で2月定例愛知県議会が開会しました。

大村知事による議案の提案説明は文字数25000字、A4の紙で47ページ、1時間を超える演説です。

2025年度の当初予算は
一般会計 2兆9,413億余円
特別会計 1兆2,682億余円
企業会計 2,349億余円

合わせて4兆4,444億余円となります。このうち、一般会計の予算規模は、2024年度当初予算に対し105.2%となります。



主な事業

- ◎「APMネコバス」の運行や公園北側駐車場整備などジブリパーク関連の公園整備
- ◎ジブリパークを核とした周遊観光の促進
- ◎愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」の開催
- ◎PFI手法による「STATION Ai」の運営
- ◎「Sushi Tech Tokyo2025」への出展
- ◎「STATION Ai」内での「あいち創業館」の運営
- ◎海外スタートアップ支援機関との連携推進
- ◎愛知のスタートアップ・エコシステムを世界に発信する「Tech GALA Japan」の開催
- ◎イノベーションプロジェクト(農業・デジタルヘルス・環境・モビリティ・スポーツ)の推進
- ◎「IGアリーナ」の開業式典とオープニングイベントの開催
- ◎「ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会2025」の開催支援
- ◎東京ガールズコレクションと連携したファッションショー「あいち・なごやFASHION DAYS」の開催
- ◎リニア中央新幹線の推進
- ◎中部国際空港の機能拡充
- ◎国際産業展示会の開催支援
- ◎「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・北陸中部」の開催支援
- ◎矢作川流域上下水道一本化に向けた検討調査などカーボンニュートラルの実現
- ◎大型水素ステーションの整備に向けた適地調査など水素の社会実装の推進

- ◎「ラーケーションの日」の円滑な実施に向けた校務支援人の配置など休み方改革の推進
- ◎市町村が行う柔軟な保育士配置への支援、3歳未満児の保育料の無料化・軽減対象の第二子以降への拡大など少子化対策の推進
- ◎公共ライドシェアの立上げ支援など人口問題対策の推進
- ◎鉄道事業者が行う鉄道施設の耐震・浸水対策への支援
- ◎スタートアップを活用した市町村のまちづくりへの支援
- ◎自動運転の定期運行
- ◎「World Robot Summit 2025 AICHI」と「高校生ロボットSリーグ」の同時開催
- ◎産学官の共同研究活性化支援など次世代バッテリー産業の支援
- ◎「産業競争力強化減税基金」を活用した産業振興と雇用の維持・創出
- ◎中小企業のBCP策定支援
- ◎「あいち型産地パワーアップ事業費補助金」による農業施設整備やスマート農業機械の導入支援
- ◎鳥インフルエンザや豚熱の感染防止対策の実施
- ◎PR効果の高いモデル的な施設の木造・木質化支援
- ◎漁業振興のための干潟・浅場の造成、貝類増殖場の整備
- ◎中学校第1学年の35人学級の実施
- ◎中高一貫校・フレキシブルハイスクール・夜間中学の開校
- ◎児童生徒一人一台タブレット端末更新の支援
- ◎校内フリースクールに支援員を配置する市町村への補助制度創設
- ◎教員業務支援員を配置する私立幼稚園への補助制度創設
- ◎児童養護施設退所児童の自立支援、子ども食堂への支援拡充
- ◎三河地区の一時保護所の移転整備
- ◎介護従事者の確保、介護施設等の整備推進
- ◎特別支援学校の整備
- ◎強度行動障害のある人と家族への支援体制整備
- ◎障害者グループホームの運営指導体制の強化
- ◎感染症まん延時に備えた県内医療機関が使用する個人防護具の段階的な備蓄
- ◎MDアンダーソンがんセンターとの連携、新がんセンター整備に向けたPFI導入準備
- ◎保護犬・保護猫の譲渡を推進する施設の基本構想調査
- ◎技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開催、技能五輪国際大会の開催準備
- ◎外国人材の確保支援

- ◎条例制定に向けた検討などカスタマーハラスメント防止対策の推進
- ◎「あいち女性輝きカンパニー」のPR
- ◎「愛知県ファミリーシップ宣誓制度」の普及啓発
- ◎オーストラリア・ビクトリア州、中国・江蘇省との友好提携45周年記念事業の実施
- ◎大阪・関西万博での愛知・名古屋の魅力発信
- ◎外国人児童生徒に対応する小中学校教員の配置拡充
- ◎大規模災害発生時に外国人被災者の情報を収集・共有する仕組みの検討
- ◎国際芸術祭「あいち2025」の開催
- ◎「発酵食文化」の振興と魅力発信
- ◎愛知県基幹的広域防災拠点の整備推進
- ◎大規模地震に備えた被災者支援緊急パッケージの新設
- ◎ペット同行避難対策推進マニュアルの作成
- ◎AIを活用した捜査システム導入
- ◎警察署の整備(半田、一宮、瀬戸、大府、稲沢、常滑)
- ◎EV・PHV・FCVの導入支援
- ◎EV・PHV・FCVを対象とした「自動車税種別割の課税免除制度」の2年間延長
- ◎集合住宅等へのEV・PHVの充電設備の導入支援
- ◎時習館高校での中高一貫校整備、豊橋工科大学での夜間中学設置、御津あおば高校でのフレキシブルハイスクール設置など多様な学校づくりの推進
- ◎豊橋浄水場の整備や県営住宅の建替えなどでのPFI方式の導入
- ◎重要文化財である愛知県本庁舎の銅板屋根の全面ふき替え
- ◎アジア・アジアパラ競技大会の推進

アジア競技大会・アジアパラ競技大会のボランティアを募集しています!

アジア競技大会はアジア最大のスポーツの祭典で、45か国と地域が参加するオリンピックのアジア版といったイメージの一大イベントです。

大会期間はアジア競技大会が2026年9月19日(土)～10月4日(日)までの16日間。アジアパラ競技大会は2026年10月18日(日)～10月24日(土)までの7日間で、刈谷市では総合運動公園内施設が競技会場となり、サッカー(競技)・バスケット(練習)・車いすラグビー(パラ・競技+練習)が開催されます。

現在その大会において活躍頂く**ボランティアを募集**しています。**一日からの活動もOKです。関心のある方は「神谷まさひろ事務所0566-23-0344」までお問合せ下さい。**

